

【樹木の部屋】

ハナミズキ（ミズキ科ミズキ属 *Cornus florida*）

和名：ハナミズキ(花水木)

別名：アメリカヤマボウシ

英名：flowering dogwood

ミズキ目 落葉高木

原産地：北アメリカ

花言葉：華やかな恋、私の思いを受けてください

花の色：白、桃、赤



← 写真-1 ハナミズキの樹姿

撮影日：2019年04月19日

撮影場所：大和郡山市内にて

撮影者：Mさん

↘ 写真-2 ハナミズキの木肌

撮影日：2019年04月19日

撮影場所：大和郡山市内にて

撮影者：Mさん



← 写真-3 ハナミズキの花

撮影日：2019年04月19日

撮影場所：大和郡山市内にて

撮影者：Mさん



↑ ↗ 写真-4、5、6 ハナミズキの花
 撮影日：2019年04月19日
 撮影場所：大和郡山市内にて
 撮影者：Mさん



大和郡山市郊外の民家に咲いていました。
 ハナミズキの名は、ミズキの仲間では花が目立つことに由来し、アメリカヤマボウシの名は、アメリカ原産で日本の近縁種のヤマボウシに似ていることから名付けられたものです。

北アメリカ原産でアメリカを代表する花の一つでもあり、日本へは明治時代、ワシントンにソメイヨシノを送った返礼としてやってきました。

花期は4月下旬から5月上旬で、白色や薄いピンク色の花をつけます。但し、花弁のように見えるのは総苞で、中心の塊が花序です。実際の花は、4弁の直径5mm程度の目立たない花が集合して、順次開花します。咲く少し前の花は横から見るとフクロウの顔に似ています。

樹皮は灰黒色で細かくひび割れた模様になり、枝は斜上して上に広がる樹形になります。葉は長枝には対生し、短枝には2枚が束生します。葉の形は楕円形で葉脈が目立ち、縁は波打っています。

ハナミズキは英語では「犬の木」を意味する「dogwood」と呼ばれています。この語源には、17世紀頃に樹皮の煮汁がイヌの皮膚病治療に使用されたためと言う説と、木製の串を意味する英古語の「dag」「dog」を作る材料に使われる堅い木であったことからとも言われる説などがあるそうです。ただし、イヌの皮膚病治療に使ったとされる「dogwood」は、同じミズキ科の植物でもセイヨウサンシュユと考えられており、ハナミズキとは異なるそうです。

基本的にはとても丈夫な木です。日当たりと水はけのよい、肥沃な土の場所を好み

ます。乾燥にも比較的強く、半日陰でも育ちますが、隔年開花になる場合もあります。強い西日は避け、うどんこ病や各種害虫には要注意です

ハナミズキの剪枝・剪定ですが自然樹形を楽しむ樹木なので普通は強剪定しません。花後の剪定と冬季の基本剪定があります。

花後の剪定

剪定の時期は花後すぐで、夏が花芽分化期です。開花していた枝の先端部や、葉芽のない短い開花枝はいずれ枯れるので切ります。徒長枝、込み合った枝、下向きの枝、ひこばえ、胴吹き枝、不要な枝を分岐点の上から切るようにします。夏以後の剪定は花芽も切ってしまうことになるので避けます。ハナミズキの花芽は8月には小さな花芽が丸みを帯び、9月には花芽が宝珠の形になり、確認しやすくなります。

冬季の剪枝・剪定

ハナミズキの木を大きくしたくないときは、落葉後、見やすい高さで主幹の頂部を切りつめて止めます。ただし、大きくなりすぎてから強い剪定をすると樹姿も悪くなり、ハナミズキも弱って枯れる場合がありますので要注意です。花後と同じ徒長枝、込み合った枝、下向きの枝、ひこばえ、胴吹き枝、不要な枝を分岐点の上から切るようにします。